

卒業式式辞

寒さの中にも校庭の木々には淡い色彩が溢れ、春の訪れを感じさせる今日のよき日に、大阪府立成城高等学校定時制の課程第11回卒業式を挙行いたしましたところ、公私何かとご多用にもかかわらず、東大阪高等職業技術専門校の山根校長先生をはじめ、ご来賓の皆さま、関係者の皆さま、保護者の皆さまのご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんは、この成城高等学校の定時制の課程で学んできました。勉学はもちろん、学校行事や生徒会活動その他さまざまな活動に取り組み、成城高校定時制の歴史に新たなページを書き加えてくれました。皆さん一人一人の努力に、称賛の拍手を送りたいと思います。

今、皆さんへ卒業証書を渡しました。この卒業証書を見て、まずはこれまでよく頑張ってきた自分自身をほめてください。ほんとうによく頑張りました。そして、皆さんを支えてくれた、保護者、職場の仲間、周りの友達、そしてお世話になった先生方へ、ありがとうの言葉や心からの感謝の気持ちを伝えて欲しいと思います。

この卒業は、皆さんにとって、ひとつの目標であり、夢だったことでしょう。この夢は実現しました。これからの皆さんの未来は続いていきます。未来の目標や夢の実現のために、これからも自分らしく夢を持ち続けて、歩みを続けてください。

私は、皆さんとはこの一年だけでしたが、成城高校で過ごしてきました。特に行事での皆さんの姿はとても印象に残っています。体育祭では少し雨模様の中、どの学年よりも大きな声でクラスメートを応援し、最後には笑顔で担任と集合写真を撮っていたこと。文化祭では初日の模擬店で、体が温まる出し物やゲームに行列ができる中、休みなく対応していた熱心な姿、2日目のステージの部では教員のダンス劇を心から楽しんでいる姿を見て、皆さんの仲間を大切にしたい気持ちや思いやり、学校との絆を感じる事ができました。

そんな皆さんが歩み出すこれからの社会はグローバル化が進展し、また、AI（人工知能）の発達は人々に便利さを提供するとともに、人の仕事の大半を肩代わりしてしまうとも言われています。

ただ、どんな状況にあっても個性を大切に、自分の良さに気づき、自分を大切にしたいと思います。それができれば、自分の周りの人の良さにも気づくことができるでしょう。これからは、自分を生かし、まわりのひとの良さや個性にも気づき、周りの人と協力し高めあって社会のなかで活躍してほしいと思います。

さて、ちょうど今、冬季オリンピックが韓国のピョンチャンで開催されています。アスリートたちが熱戦を繰り広げ、多くの感動的なシーンが報道されています。その中で、女子スピードスケート500mで金メダルを獲得した小平奈緒選手の話を読みました。

地元長野県の高校を卒業するときに、将来教員になってスケートの指導者になりたいとの夢を捨てずに、誘いのあった実業団チームを断り、大学に進学して勉強を続けながらオリンピックをめざしたそうです。そして大学を卒業してもずっと長野県で競技生活を続けたいと希望していましたが、折からの不況で地元企業に就職できずに困っているところを、現在の所属先の病院の支援を受けて就職し、病院職員として競技生活を続けることができました。

その後の活躍はたくさんの報道等で皆さんの知るところです。小平選手がオリンピックだけをめざすなら、設備や支援体制の整った実業団チームに所属するのが効率的な進路だったのかもしれませんが。しかし、教員になるという夢をあきらめずに勉強とスケートを両立させることを選び、また地元で支援してくれる仲間とともにスケートを続けたいという選択をしました。それでも一つひとつ課題を乗り越え、多くの支援を受けながら、自分の夢を一つ実現しました。

皆さんに気づいてほしいことは、『夢に向かって進むのに、道は一つだけではない』ということです。これから進んでいく先には、途中で困難なことに会うでしょう。時にはぶつかって立ち止まり、あるいは回り道をして別の進路を探す必要があるかもしれません。

それでも、夢を忘れずにその実現に向かって道を探してほしいと思います。そして、そのための努力をすることが周りの人の共感を呼び、人と人のつながりを育ててくれるのだと思います。この成城高校で学んだ皆さんなら、きっとできるはずです。頑張ってください。応援しています。

保護者の皆さん。関係者の皆さん。本日は誠におめでとうございます。ここに卒業式を迎えた、お子様の姿をご覧になって、感激もひとしおかと存じます。定時制高校で学び、そして卒業するということが、簡単なことではなかったとっております。本人たちの努力もさることながら、皆さんに支えられ、励まされ、応援をいただきながらこうして卒業を迎えました。本校の教育の推進にご理解とご協力を賜りましたことを、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。また、お子さまを通じて生まれましたこのご縁、引き続き、成城高校定時制の課程発展のためにお力添えくださいますようお願い申し上げます。

結びになりますが、ここに卒業を迎えた皆さんの門出を祝し、いまいちど、「おめでとう」の言葉を送り、私の式辞といたします。

「卒業おめでとう」

平成30年2月24日

成城高等学校定時制の課程校長 麻野克己